

## 1. マイナンバー制度の概要

### 1-1 マイナンバー制度とはどんな制度か

#### (1) 制度の目的と効用

##### ①マイナンバーとは

マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤である。

##### ●公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行うことができる。

##### ●行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減される。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減される。

##### ●国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減される。

行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関から様々なサービスのお知らせを受け取ったりできる。

##### ②制度の目的と効用

##### ●制度の目的

マイナンバー（社会保障・税番号）制度は、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤である。

### ●制度の効用

効用としては、まず、行政の効率化をはかれるということである。マイナンバー制度の導入後は、国や地方公共団体等での手続で、個人番号の提示、申請書への記載などが求められる。国や地方公共団体の間で情報連携が始まると、これまで相当な時間がかかっていた情報の照合、転記等に要する時間・労力が大幅に削減され、手続が正確でスムーズになる。

次に、国民の利便性の向上を得ることができる。これまで、市役所、税務署、社会保険事務所など複数の機関を回って書類を入手し、提出するということがあった。

マイナンバー制度の導入後は、社会保障・税関係の申請時に、課税証明書などの添付書類が削減される場合があるなど、面倒な手続が簡単になる。また、本人や家族が受けられるサービスの情報のお知らせを受け取ることも可能になる予定である。

最後に、公平・公正な社会の実現が可能となる。国民の所得状況等が把握しやすくなり、税や社会保障の負担を不当に免れることや不正受給の防止、さらに本当に困っている方へのきめ細かな支援が可能になる。かかっていた情報の照合、転記等に要する時間・労力が大幅に削減され、手続が正確でスムーズになる。

#### 【マイナンバー制度の目的】

